

RNN速報

「フィリピン台風27号」被災者緊急救援のお願い

RNN事務局長 黒住 宗道

各位

2015年12月14日にフィリピン中部・サマール島北部の北サマール(Northern Samar)州ラオアン(Laoang)に最初に上陸した台風27号(現地名:Nona)は、フィリピンの広範囲に大雨・暴風をもたらしました。フィリピン国家災害対策本部の発表によると死者17名、負傷者20名、行方不明3名。現在約22万人が避難を余儀なくされており、全国で約13万棟の建物被害が報告されています(12月18日現在)。現地からの情報によると、一部の地域では電気、電話などのライフラインが使えない状況が今も続いています。

AMDAは、アジア相互扶助災害医療ネットワーク(*1)メンバーで、フィリピン開発アカデミー(DAP: Development Academy of the Philippines)(*2)の上級副学長であり、フィリピン海軍予備役大尉であるメルカド氏からの要請により看護師を派遣し、緊急救援活動を実施することを決定しました。

メルカド氏によると被災地に住む知り合いとは現在も連絡が取れない状況で、クリスマスシーズンを迎えているにも関わらず食べ物も住むところもない人々もいると報告があった。AMDA看護師は、12月20日マニラに到着。現地からの最新情報に基づき、支援内容について協議を行い、22日早朝には北サマール州に移動、活動を開始する予定である。

- *1 アジア相互扶助災害医療ネットワークとは「開かれた相互扶助」精神のもと、災害時の人道支援活動を迅速かつ有効に展開して行くネットワーク。2013年からAMDAが提唱しています。
- *2 フィリピン開発アカデミーとは、AMDAの協力団体の一つであり、フィリピン国家の経済・金融・福祉・教育などの分野において、重要な役割を担う人々の育成とプログラム開発などをする団体。

■本部からの派遣

岩本智子(いわもと ともこ)看護師、(米国資格)/フィリピン担当部長/倉敷市在住 31歳 (84年4月生)

この度も、下記の基準に則り、各位に募金をお願い申し上げる次第です。尚、本募金の当面の〆切を本日から1ヵ月後の2016年1月19日といたします。宜しく願いいたします。

RNN定例会議(1998/7/24 開催)により、本ネットワークによる緊急救援活動実施について

- ② RNNのメンバーが被災した場合
- ② 「トピアの会」のネットワーク (INNED、姉妹校等)が被災した場合
- ③ AMDAが現地入りした場合

が即対応の基準として承認されています。

募金は下記のRNN郵便振替口座に送金をお願いします。集められた募金はAMDAへの委託とともにRNNとして責任をもって活用させていただきます。これまで同様、募金の領収書は各委員(教団・教会・寺院)名で出されます。ご協力に際しては、通信欄に「フィリピン台風27号」とご明記下さい。

以上

RNN郵便振替口座

加入者名: RNN

口座番号: 01310-9-63933